

## 平成 29 年度第 2 回宗像市学校給食審議会議事録

日 時：平成 29 年 9 月 22 日(金) 9：00～10：10

会 場：宗像市役所本館 3 階 301 会議室

出席者：審議会委員 10 名出席（1 名欠席）

### 1. あいさつ

### 2. 協議

#### (1) 学校給食費について

##### ① 事務局が説明した内容についての質問や意見等

##### 【質問事項】

質問 1	<p>給食費を滞納している家庭に対して、今後の納入計画を立てる際に、「納入計画書」を使用したのが、大変良かった。この様式は学校管理課にあるのか。</p> <p>回答：様式は学校管理課にあり、すでに使用している学校もある。</p>
質問 2	<p>給食費滞納への対応は、今後は学校では行わず、行政で行うようにと文部科学省から通知があったようだが。</p> <p>回答：国の動向に応じて、収納管理できる体制を確保できるように検討していく。</p>
質問 3	<p>中学校の給食時間はどの位なのか。小学校から中学校に入学すると、量は増えるのに、給食時間が短くなり、食べたいけど時間がないから残さざるを得ないという話を聞いた。もう少し給食時間を長くすることはできないのか。</p> <p>回答：宗像市近辺では 30 分がほとんどだが、35 分のところもある。およそ準備や片付けで 15 分、食べる時間が 15 分となっている。小学校は 45 分である。給食時間を延長すると、始業や終業の時間など、他の時制に影響がでることが考えられる。</p>
質問 4	<p>日の里中学校は残食が少ないが、どのような取組をしているのか。</p> <p>回答：日の里中学校の取組は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 給食時間になると、すぐに配膳ワゴンを取りに行く。</li><li>② 給食のつぎわけが速く、また、残さずつぎわけることができる。</li><li>③ 食べる前に減らす子もいるが、その分増やす子も多い。また、</li></ol>

	<p>食缶に残った場合も、担任の先生や当番がつぎわけて、食缶が空になる。</p> <p>④ 給食委員会の取組で、残菜ゼロ運動を実施している。結果は全校放送で発表している。</p> <p>⑤ 牛乳の残量を、配膳室の前に貼っていて、生徒にわかるようにしている。</p> <p>⑥ 部活動の子を対象として、運動や食事に関する講義を実施している。その結果、よく食べるようになった。</p>
質問 5	<p>中学校で、残食率が 10%を超える要因は何か。改善すべき点はどこにあるのか。</p> <p>回答：全国的に見ても、小学校よりも中学校の方が残食率が高い傾向にある。給食時間が短いということもあるが、日の里中学校では、効率よく準備するなど工夫して、残食が少ないところもある。</p> <p>中学校は量も多く、残すことに対する罪悪感も薄い傾向にある。</p> <p>また、運動部加入率の減少傾向が影響している可能性もある。</p> <p>学校として取り組むことも重要だが、家庭でも食について意識を高めていくことが必要ではないか。日常生活での実践が、給食時間でも活かされると考える。</p>
質問 6	<p>給食時間中におしゃべりをさせない学校もあるようだが、学校ごとに方針が違うのか。家庭では食事中も会話はしている。</p> <p>回答：おしゃべりをしていると、食べるのが遅くなってしまふことがある。そのため、クラスによっては時間を区切って、この時間以降はしゃべらず食べようと決めているところはよくある。学校の方針というよりも、クラス単位での対応となる。</p> <p>また、皆で楽しく食べることはいいことだが、指導や規律の面から考えると、しゃべらず食べるという手法も導入することがある。</p>

【意見等】

意見 1	<p>宗像市は小中一貫教育を行っているので、食についても小・中連携し、情報も共有して対応していくことが重要ではないか。残食に対する取組は、一つの中学校の努力だけでは長続きしないのではないか。</p>
意見 2	<p>日の里中学校では、給食の時間に、自分で食べられる量を決めて対応しているということが良い取組と感じる。残さず食べることを全員の目標としてしまうと、食べきれない子や、食物アレルギーがある子等にと</p>

	っては負担に感じてしまう。
意見 3	選択制の弁当給食を実施している地区もあるが、家庭の事情によっては、お金を持ってきて別の物を買う子や、おにぎりやパンだけを持ってくる子、何も持ってこない子等がでてくる。そのため、学校給食は今のような形式でやっていった方がよい。
意見 4	宗像市は、給食費の滞納についてとても努力してきた自治体の一つと思う。今後も、これまでと同様に対応していくということでいいのではないか。
意見 5	学習指導要領の改訂により時数が増え、給食時間に影響が出ないか心配である。

## ② 平成 30 年度以降についての学校給食費について

### 【事務局からの提案内容】

第 1 回の審議会で、「①消費者物価指数の生鮮食品などの項目が上昇傾向にあること」「②栄養教諭等から給食費が不足しているので値上げしてほしいという要望が上がっていること」「③給食費の試算結果で、現行の給食費を上回る金額となっていること」を説明させていただいた。

しかし、平成 29 年 1～7 月の単価で試算したところ、小学校については現行の給食費よりも下回り、中学校では現行の給食費を上回るものの平成 28 年度と比較すると 10 円程度下がっている。

また、「平成 31 年 10 月に消費税率の引き上げが予定されていること」「学習指導要領の改訂により、給食回数の増加が見込まれていること」「調理業務委託の契約更新の時期が平成 31 年 8 月であること」等、平成 31 年度にかけて給食を取り巻く環境に大きな動きがある。

以上のことから、給食費については、平成 30 年度については現行のとおりとし、平成 31 年度に向けて改めて協議させていただきたい。

### 【質問事項】

質問 1	宗像市の現在の給食回数は全国的に見ても少ないと思うが、今後どのようにしていくのか。  回答：学習指導要領の改訂に伴い、夏休みの短縮などにより授業日数が増え、給食回数も増えることが予想されている。
質問 2	夏休みを短縮する場合、エアコンの設置が前提となると思うが、どのようにするのか。

	<p>回答：今年度から平成 33 年度にかけて、小中学校の普通教室にエアコンを設置するように計画は進めているが、できる限りその期間を短縮できるように対応していきたい。</p>
質問 3	<p>平成 30 年度から夏休みが短縮になった場合、給食回数は増加できるのか。</p> <p>回答：平成 30 年度は増加できない。これは、教育政策課とも協議済である。</p> <p>調理業務の契約の中で基準給食回数を定めているため、給食回数を増やすタイミングとしては、契約の更新の時期（平成 31 年 8 月）に合わせて行いたい。</p>

**【結論】**

**事務局からの提案について、審議会として承認するかどうかについて、協議を行ったところ、委員全員「異議なし」ということで、承認するものとする。**